［広報］ 鮫川村広報紙

さめがわ

6

2005 No. 614
平成17年６月１日発行



［クローズアップ］

里山の魅力を子どもたちに

■**グラフ特集**
鮫川ふるさと春まつり2005

■**ほっとニュース**
東京鮫川会ふるさと探訪ツアー
幼年・少年消防クラブ結団式 ほか

［表紙写真］
子どもセンターいちご狩り

農

山村を取り巻く環境は厳しい状況にあり、担い手不足や高齢化、耕作放棄地の増加などから、山林の手入れや農産物の生産へ影響し、農山村の持つ美しい自然景観、伝統文化などの維持が困難な状況にあります。

一方で、農林漁業体験や田舎暮らしなどを通じて、都市と農山村の交流（対流）も活発になってきています。教育の現場においても、子どもたちが農林業を体験することで、地域の文化や産業などへの関心、学習意欲の向上につながり、交流（対流）やふれあいによって人格の形成に大きな効果があると期待されています。

そうした中、都市との交流拠点として整備された村交流施設「ほっとはうす・さめがわ」（以下、「ほっとはうす」）では、農業体験や自然体験、村や地域の人たちとの交流を通して、農山村が果たす役割や重要性を理解してもらおうと、都市部を中心に観光客を受け入れてきました。これまでにたくさんの交流が生まれ、村づくりにおいても重要な役割を果たしてきています。

また、平成十二年にスタートした「里山まるごと体験学校」をはじめ、親子自然観察会や小学生の交流会など里山環境学習の場として新しい交流も生まれています。

里山の自然から学ぶ

千葉県柏市立中原小学校では、総合的な学習の時間を使って、体験学習を行っています。そのうち五年生は、国立那須甲子少年自然の家（西白河郡西郷村）を拠点に、毎年ネイチャースクールを実施しています。今年度は五月二十一日から二十三日の三日間行い、二十二日には約五十名が鮫川村を訪れました。

午前中は田植え体験を実施。ほとんどの児童が田植え初体験の中、太陽に温められた田んぼの感触を楽しみながら、「ほっとはうす」脇の田にもち米の苗を植えました。午後からは、近くの「桜山」周回コースを散策し、ネイチャーゲームや木登りなどを通じて里山の植物や環境を肌で感じ、自然のしくみを学んでいました。

里山は資源の宝庫です。里山の自然環境を守り、子どもたちに魅力を伝えていくことが、今後ますます重要になります。

クローズアップ
［CLOSE UP］



里山の魅力を子どもたちに

体験学習で「生きる力」を育もう



都市との交流拠点「ほっとはうす・さめがわ」

クローズアップ
[CLOSE UP]

里山の魅力を子どもたちに



田植えの後は泥遊び。自然は子どもたちをいきいきとした表情にさせてくれます。







左上…里山にはたくさんの「発見」があります。
左下…桜山の頂上からみんなで「やっほー！」
右…木登りだってできるよ。

高原の風、新緑を感じて

Photo-Sketch of 鮫川ふるさと春まつり2005

グラフ PHOTOGRAPH 特集

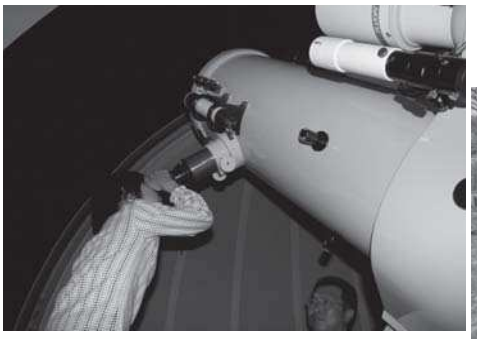


村ふるさとネットワーク委員会（阿久津光市会長）主催の「鮫川ふるさと春まつり２００５」は５月３日から５日までの３日間、鹿角平観光牧場をメイン会場に村内８ヵ所で行われ、家族連れなど大勢の人出でにぎわいました。

期間中は、野外コンサートや、ピザ焼き体験、春の野遊び教室、ＦＭＸ、野菜や山菜の直売会など多彩なイベントが催され、訪れた人たちは、思い思いに高原の春を満喫していました。









メイン会場となった鹿角平観光牧場では、子どもたちを対象としたモトクロス体験や、アマチュアバンドらによる野外コンサート、バードゴルフなどさまざまなイベントが繰り広げられ、バーベキューを楽しむ家族連れなどで終日にぎわっていました。

また、夜には天文台で天体観望会も行われ、天体望遠鏡から映し出される土星、木星の美しさに魅了されていました。



Photo -Sketch of 鮫川ふるさと春まつり２００５



ＮＰＯ法人あぶくまエヌエスネット（赤坂東野字葉貫）では、石窯オーブンピザ焼き体験を行いました。参加者は思い思いにピザの生地に材料をトッピングしたあと、こんがりと焼き上がったピザをおいしそうにほおばっていました。





かぼちゃ美人の会では、春まつり期間中の３日間、イベント会場で新鮮な野菜・山菜の直売会を実施しました。５日にはかぼちゃ美人の会交流館（西山字馬場）で直売会を行ったほか、つきたてのもちや採れたての山菜などが振る舞われ、参加者は舌鼓を打っていました。



菅生の郷自然学校（富田字鍬木田）では、「親子で楽しむ春の野遊び教室」を開催し、親子など約30名が参加しました。付近の野山から採れた山菜や野草を調理したほか絵手紙教室が行われ、子どもたちは目を輝かせて楽しんでいました。



ＦＭＸinさめがわが行われたモトパーク森（赤坂東野字遠ケ竜）では、国内トップレベルのライダーたちが集合し、空中でさまざまな技を披露。大技が決まるたびに観客から大きな歓声が沸きあがりました。

また、会場内には売店も設けられ、多くの人でにぎわいました。



みんなで考えよう 老人医療費

延ばそう「健康寿命」 健康こそが最大の医療費節約

毎年増えていく国民医療費。中でも、老人保健制度で医療を受けている高齢者人口が増えていることによって、老人医療費は増加する傾向にあります。

平成十六年度に村が支出した老人医療費は毎月三千八百―四千五百万円、一年間では約四億五千四百万円でした。月平均受給者数は八百九十八人になり、一人当たり医療費は約五十万六千円です。

高齢社会に適応できる医療保険制度を維持し、安心して医療を受けられるように老人医療費の現状をよく理解し、医療費の有効利用を考えてみましょう。

■老人保健制度とは

高齢者が医療を受けたときの負担を軽くして、安心して医療を受けられるようにするための制度です。

七十五歳（一定の障害のある方は六十五歳）以上の方と、昭和七年九月三十日以前に生まれた方が医者などにかかるときは老人保健で医療を受けます。医療機関の窓口で支払う金額は、かかった医療費の一割（一定以上所得者は二割）または一カ月の自己負担限度額［表1］です。

■老人医療費はみんなで支えあっています

老人医療費のうち、自己負担分以外は「老人保健拠出金」が約六割を占め、残りの約四割は、国・都道府県・市区町村の「公費」でまかなわれています。

この「老人保健拠出金」の費用を負担しているのが、各医療保険制度の保険者（国保や健保組合など）と、加入している被保険者です。また、「公費」はみなさんが納めた税金などが充てられています。このように老人医療費はみんなで支えているのです。

老人医療費の公費負担割合については、医療制度の改正に伴い、［表2］のように段階的に引き上げられ、平成十八年十月から五〇％になります。

■健康こそが最大の医療費節約「まめで達者」がなにより

高齢になると「高血圧症」「高脂血症」「心臓病」「糖尿病」といった生活習慣病をかかえる方が増えてきて、老人医療費増加の主な原因になっています。生活習慣病は完治が難しく、ほかの病気も併発しやすいため、受診する回数も増えてしまいます。

健康は一朝一夕に築けるものではありません。高齢者以外の世代のみなさんも正しい生活習慣を身につけ、健康維持に留意することが「健康寿命」を延ばすことにつながり、ひいては医療費の節減や医療保険制度の健全な財政運営につながっていくのです。

■加入している医療保険が変わったときには届け出を忘れずに

村では、毎月「老人保健拠出金」の費用を負担してもらうため、老人医療受給者の加入している各医療保険制度の

［表1］　1ヵ月の自己負担限度額

所得区分	外来だけの場合（個人ごとの限度額）	入院＋外来（世帯ごとの限度額）	入院したときの食事代（1日当り）	
一定以上所得がある方（自己負担2割）	40,200円	72,300円＋医療費が361,500円を超えた場合は、超えた分の1%加算	780円	
一般の方（自己負担1割）	12,000円	40,200円		
低所得Ⅱの方（自己負担1割）	8,000円	24,600円	90日までの入院	650円
			過去12カ月以内に90日を超える入院	500円
低所得Ⅰの方（自己負担1割）		15,000円	300円	

［表2］　老人医療費の負担割合推移

	～14年9月	14年10月～	15年10月～	16年10月～	17年10月～	18年10月～
公費負担割合	30％	34％	38％	42％	46％	50％

平成18年10月から

一部負担金など	各医療保険制度 50％ 国保・企業などの健保組合・共済組合など	公費 50％ 国・都道府県・市区町村＝4：1：1

辺栗・鬼越地区を桃源郷に

東京鮫川会では、ふるさと鮫川村に桜の名所を作るため、「桜の苗木寄付事業」を実施しています。今年は、村振興計画のモデル地区「鬼越辺栗地区（圓谷實代表、鬼越組合全戸）」に桜の苗木50本（２万円相当分）が寄贈されました。

４月24日には、辺栗・鬼越地内に50本の苗木の植樹が行われました。



桜の植樹を行った辺栗・鬼越地区のみなさん

2005年ＪＡＦ全日本ラリー選手権開催
通行止めに協力をお願いします

６月17日から19日まで、マツダスポーツカークラブ（ＭＳＣＣ）主催の2005年全日本ラリー選手権大会（ＭＳＣＣ東京ラリー2005）が開催されます。大会では、村道東野牧野線に特設コースを設け、ラリー競技を行います。そのため下記の時間は村道を通行止にしますのでご協力をお願いします。なお、観戦もできます。

▶村道通行止時間

６月17日（金）午前６時～午後７時
６月18日（土）午前６時～午後７時
６月19日（日）午前６時～午後４時

▶観戦する場合

大会当日、鹿角平観光牧場で受付けをしてください。

集合日時　６月19日(日）午前６時30分～８時30分

観戦料　1,500円(プログラム付､中学生以下無料）　※プログラム不要の場合は、鮫川村民に限り入場無料となります。

その他　鹿角平観光牧場（駐車場）から会場（村道東野牧野線）まではシャトルバスでの移動となります。

■問い合わせ　ＭＳＣＣ東京ラリー2005大会事務局☎03-3440-0301



昨年の大会から

年金の届け出を忘れずに

こんなときには、こんな手続きが必要です。

保険者（国保や健保組合など）へかかった老人医療費の費用額を通知しています。加入している医療保険が変わったときは、新しい保険証を持って早めに役場住民福祉課に届けてください。

■問い合わせ　村住民福祉課住民係☎49-3112

■誕生月が来たとき

年金を引き続き受け取るためには、毎年誕生月の初め頃に送付される「年金受給権者現況届」（以下「現況届」）に住所・氏名などを記入し、必ず誕生月の末日までに社会保険業務センターに到着するよう返送しなければなりません。「現況届」を提出しないと年金の支払いが一時止まってしまいますのでご注意ください。

なお、初めて年金を受け取ってから一年以内の方には「現況届」は送付されません。

■年金証書を失くしたとき

「年金証書再交付申請書」を社会保険事務所に提出してください。

■年金改定通知書を失くしたとき

年一回、六月支払期に社会保険業務センターから年金受給者に対して「年金振込通知書」と併せて送付される「年金改定通知書」は、健康保険の被扶養者として認定を受けるときに必要となります。失くした場合は「改定通知書再発行申請書」を社会保険事務所に提出してください。

■住所や年金の受け取り先を変えたいとき

転出・転居をして住所が変わったときや、年金の支払い機関を変更する場合は「年金受給権者住所・支払機関変更届」を社会保険事務所へ提出してください。年金の受け取り先を変えたときは、支払い機関で証明を受けてください。

■年金を受けている方が死亡したとき

この届け出は、戸籍や住民票の死亡届とは別に必要となります。遺族の方などが「年金受給権者死亡届」に年金証書、死亡の事実を明らかにできる書類（戸籍抄本、死亡診断書など）を添えて住所地の管轄社会保険事務所へ提出してください。

これらの届け出に必要な用紙は、社会保険事務所、役場窓口にありますので係に申し出てください。

■問い合わせ　福島社会保険事務局白河事務所☎0248-27-4165　村住民福祉課住民係☎49-3112

1 NEWS

新緑のふるさとを満喫
東京鮫川会ふるさと探訪ツアー

東京鮫川会のふるさと探訪ツアーは、五月十四日、十五日の二日間、鹿角平観光牧場や「ほっとはうす・さめがわ」などで行われました。

初日は、鹿角平観光牧場でバーベキューを行った後、葉貫地区の桜山と長井農園（青生野・姿平）の二班に分かれ、わらびなどの山菜採りを楽しみ、「ほっとはうす」でそば打ちを体験しました。

二日目は環境学習館を見学した後、江竜田の滝遊歩道を散策。新緑がまぶしいふるさとの初夏を満喫しました。


そば打ちを楽しむ参加者


親睦を深めたバーベキュー

2 NEWS

181人が生きがいづくり
高齢者講座「社会学級」が開級

高齢者の生きがいづくりを目的とする村公民館主催の高齢者講座「社会学級」が五月二十四日に開級しました。今年度は、六十五歳以上の高齢者百八十一人が参加しています。

講座は、十二月まで合わせて八回開催され、地区ごとにそば打ちや切り絵などの創作活動、自主学習を行うほか、村外視察研修や芸能発表などを行い、学級で学んだ成果を文集「里の春」にまとめる予定です。


生きがいづくりを進める社会学級（写真は開級式に併せて開かれた第１講座の様子）

3 NEWS

地方自治功労者知事表彰を受賞
元村議会議長の藤田好幸さん

元村議会議長の藤田好幸さん（渡瀬字関口）は、昭和六十二年から十六年間にわたり村議・議長などを歴任し、村の発展と住民生活の向上に力を尽くされた功績が認められ、平成十七年五月三日付で地方自治功労者知事表彰を受賞されました。

各種功労者知事表彰は、憲法記念日にちなみ地方自治や自然保護、社会福祉などの分野で永年活躍した功績をたたえるものです。表彰式は五月六日県庁で行われ、佐藤知事から藤田さんに表彰状が授与されました。



地方自治知事表彰を受賞した藤田さん

4 NEWS
火遊びはしません
鮫小で幼年・少年消防クラブ結団式


誓いの言葉を述べた遠藤明日香さん（６年）

鮫川小学校の幼年・少年消防クラブ結団式は五月十日、同小体育館で開かれました。
式では、塙鮫川小校長、大竹幹事長（PTA会長）のあいさつの後、児童を代表して六年生の遠藤明日香さんが誓いの言葉を述べました。続いて、奥貫村教育長、舟木棚倉消防署棚倉分署長、水野村消防団長からお祝いの言葉が贈られた後、一年から六年生の各学級代表が防火標語を発表し、「火遊びはしない」と誓いました。

5 NEWS
右見て左見て…
こどもセンターで交通教室を開催


横断歩道の渡り方を練習した交通教室

こどもセンターの交通教室は、五月十二日、同センターで行なわれました。
交通教室には、一歳児から五歳児までの百四十五人が参加。はじめに交通教育専門員の高木モトさんから、道路の歩き方、横断歩道の渡り方などの話を聞いた後、こどもセンター入り口の県道で横断歩道の渡り方を練習しました。子どもたちは、慎重に左右を確認しながら、元気に道路を渡っていました。

6 NEWS
むし歯のない子は2人
4月21日実施の3歳児健診

四月二十一日に村保健センターで実施した三歳児健診で、むし歯がなかったお子さんは、受診児八人中二人でした（写真）。
次回の三歳児健診は、七月二十一日（木）の予定です。


藤田 大成（たいせい）くん［赤坂東野字葉貫］
（父：幸樹さん、母：啓美さん）
Q：むし歯にならないためにがんばったことは？
A：ジュース類をあまり飲まないようにしたことと、寝る前にははみがきを必ずしました。


古舘 美沙（みーしゃ）ちゃん［赤坂東野字広畑］
（父：勝人さん、母：甚子さん）
Q：むし歯にならないためにがんばったことは？
A：お父さん、お母さんが毎日仕上げみがきをがんばりました。

7 NEWS
楽しいおはなしがいっぱい
図書館で「おはなしの森」を開催


読み聞かせに耳を傾ける子どもたち

村教育委員会・村子どもの居場所づくり実行委員会主催の「第一回おはなしの森」は五月十一日、村図書館で行なわれました。
おはなしの森は、小学三年生までの子どもたちを対象に毎週水曜日に開催。本の読み聞かせやパネルシアターなどを通じて、子どもたちが多くの本と出会い、自主的に読書を楽しむために行われます。
この日は約二十名が集まり、子どもたちは絵本に夢中になって耳を傾けていました。

みんなのページ

金澤　寿さん
Hisashi KANAZAWA

かなざわ・ひさし● 昭和38年1月生まれ。渡瀬字福原在住。趣味はスポーツ。「体を動かすことが好きなんです。」と笑顔で話す。



みんなのページは、
みなさんが参加するページです。
身近な情報をお寄せください。
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
TEL 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651
Eメールアドレス
soumu@vill.samegawa.fukushima.jp
総務課総務係
「広報さめがわ担当」まで

村民［随想］リレー ㉝

体育指導員になって

私は、現在村の体育指導員を務めています。体育指導員といってもどんな活動をしているのか分からない人が多いと思いますので、簡単に説明したいと思います。村体育協会の行事への協力（さわやか高原ロードレース、村民駅伝、その他）と、年四回行われる体育指導員の研修会への参加です。研修会というのは、ニュースポーツで、子どもからお年寄りまで年齢に関係なく誰にでもできるスポーツのことで、そこでルールと実技を覚えてきます。

昨年になりますが、子どもたちにニュースポーツを指導する機会がありました。ミニテニスというスポーツで、子どもたちはどんなふうにやるのか、どんなルールなのか真剣に説明を聞きつつ、早く実技がやりたくてしょうがない様子でした。いざ、実技になると三十分位で試合ができるようになりました。子どもたちの覚えの早さにはびっくりしました。終って感想を聞いたところ、全員が「楽しかった、またやりたい。」と言ってくれたのが、指導員をやってよかったと思えたときでした。これからもニュースポーツを指導できればと思っています。

次は、北條伊佐美さん（赤坂西野岫長）にバトンタッチ！

②「建築塗装実践知識」／定員…30名／実施予定日…７月12日（火）～13日（水）／講習内容…建築塗装技能士として必要な知識習得講習／受講時間…午前９時～午後４時／受講料など…6,300円／申込期限…６月28日（火）▶セミナーコース③「建設機械実践機能」／定員…30名／実施予定日…６月23日（木）～24日（金）／講習内容…建設機械整備技能士として必要な技能習得講習／受講時間…午前９時～午後４時／受講料など…11,600円／申込期限…６月９日（木）▶詳細・問い合わせ…福島県立郡山高等技術専門学校（テクノカレッジ郡山）能力開発課☎024-944-1663ホームページhttp://www.tck.ac.jp/

フォト

５月５日に須賀川アリーナで開催されたスポーツ少年団35周年記念大会に鮫川小バレー部が参加したときの写真です。大会には、県内から23チームが参加し、その中で鮫小は２回勝利を収めました。小柄ながらも一生懸命戦う姿にとても感動しました。（提供／水野茂男さん・宝木在住）



地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集しています。詳しくは総務課広報担当まで

広報 文芸



水無月（みなづき）

俳句

せせらぎの音律正に夏来る　中井　恒峯
豆腐屋の豆碾く音や春霞　金沢　暁舟
有る無しの風に降る降る花吹雪　矢部　正子
草もみじどんどん母が遠くなる　山本　朗史
しゃぼん玉でっかい春をつつみこむ　斎須　信子
連休の子等を頼りの田植かな　小山田清哲
夜桜の色鮮やかに灯に映える　北條素人坂
親指のマニキュアまだら花ぐもり　山本　恵子
絵手紙の花や花見を誘わるる　前田　縫子
うたたねの夢いちめんのれんげ草　鈴木　米子
晴天に花を追いかけ西東　黒田　寿香
かたくなな心をいやす春の山　小松ハルエ

短歌

草萌えの野面遅霜注意報　松本　精一
山の色どんどん良くなる雨が降る　山本五十鈴
黄昏に老婆ひとりでとぼとぼと待つ人も無き家路を帰る　松本　一郎
投稿歌歌友と揃って入選の活字となるを幾度も読む　鷺野谷　満
ささやかな野菜作りに明け暮れてこの山里にわれは老いゆく　岡部　シゲ
水張れば田毎に蛙飛び跳ねてわが世の春と卵産みつぐ　北條　平
春囃子良き日と会津万歳の太夫と話弾ませし日よ　赤坂　朝子
暖かい陽光浴びて曲る腰伸ばして春よと深呼吸する　鈴木　クニ
筋力のトレーニングに誘われて年間無欠席賞を頂く　田中　志乃
歌会に友と集いてそれぞれの話題は尽きず一日短し　前田喜三子
移転して廃園となる幼稚園庭の桜もひそと咲きおり　藤田千代子
亡き舅（ちち）が実より育てし大島の椿が咲きて庭を彩る　関根キヌ子
雪消えし畑土踏めばほのぼのと温もり伝う犬ふぐり咲く　叉
友と会える歌会の日が待ち遠し個性の歌の面白さもつ　蛭田　光江
花見にと誘いてくれし友のあり浮き立つ心は恋にも似つつ　森　芳子
ソ連軍の侵攻早しわれらに未だ爆雷届かず終戦を迎う　蛭田　浩市
わが庭の垣に咲きたる芝ざくら今年も人の足をとどめて　根本　恵智
相乗りで指す花見なりその場所も明かす事なき趣のまま　坂本　雪絵
宝玉の山菜と伝わる山ぐるみ行けばごっそり採られたる後　前田　初
片栗の群れなすところ阿武隈の源流の音そうそうと鳴る　芳賀　常夫
過去のわが結婚式は自宅なりさびたる式も今は懐かし　須藤マツ子
退院し庭のさくらを見やるとき花に映れる若き日の影　大平　太平
撮るよりも文字に残さむ歌詠みつ嵯峨野竹林そぞろに歩む　鈴木イミ子
水鳥の番いなるらし口づけをしながら泳ぐ御濠の水に　吉田　セツ
早乙女の姿は消えてエンジンの音のみ響く里の田植は　関根　瑞恵
会社辞め一年になる毎日をただ懐かしく思う仕事場　水野　珠子
山菜を採ると出でゆく野は晴れて朝を早くも鳴く時鳥　齋藤　平四
裏畑に育ち二十歳の孫桜影にしのばす滝桜かな　溝井キヨノ
心浮き浮きする花の季が間なく来る梢も時に膨らむ如し　岡部　一
呆け封じの会合とも云う茶を啜り世間話に打ち解ける日日　柿沼コイノ

さめがわ
畑楽（はたらく）協力隊だより Vol.2

緑のふるさと協力隊
飯塚ひろみさんの鮫川村体験記です。

鮫川に来て、早くも２カ月が経とうとしています。最初は枯れているのかと心配になった木々も芽吹き、田には早苗が植わり、日々景色の変化が楽しみです。まるでテーマパークにいるような毎日で、植物や昆虫、動物を身近に感じるのはもちろん、農作業や山狩り、道端にある祠や皆さんとふれあうことで見えてくる生活文化、歴史など新鮮で興味深いものばかりで飽きることなどありません。

この村には、素晴らしい宝物がいっぱい。よく「こんな何もない山の中でびっくりしたでしょう。」と言われますが、30町村あった派遣地の中で鮫川に派遣されてよかったと思います。よそから来た人に「ここはただの山の中じゃない。」と第一声が出るような村づくりに協力したいです。



さめがわ・ふるさと体験学校(5/21・22）から

情報の泉

わくわく WAKU-WAKU

案　内

●白河地方就職ガイダンス開催　日時…６月24日(金) 午後２時～４時／会場…ホテルサンルート白河／対象者…平成18年３月に大学、短大、専門学校などを卒業予定の方／内容…参加学生に、参加企業の概要・特色を紹介し、各企業の人事担当者と学生による個別面談を実施します／詳細・問い合わせ…白河地方広域市町村圏整備組合内「県南地域地場産業振興対策協議会」業務課地域振興係☎0248-22-1145

●県南障がい者就業サポートセンター開設のお知らせ　県南地区にお住まいで障がいのある方の就業相談・生活相談に応じるサポートセンターを矢吹町「矢吹しらうめ通勤寮」内に昨年に引き続き開設しています。サポートセンターでは、各種の就業前訓練のほか、障がいのある方を雇用している事業者や受け入れを考えている事業所からの相談にも応じています。出張相談も行いますのでお気軽にご利用ください。／問い合わせ…県南障がい者就業サポートセンター（福島県矢吹しらうめ通勤寮内）☎0248-42-2012

●テクノセミナー（技術講習会）受講者募集
▶セミナーコース①「第二種電気工事士実践技能」／定員…20名／実施予定日…７月５(火)～６日(水)／講習内容…第二種電気工事士として必要な技能習得講習／受講時間…午前９時～午後４時／受講料など…17,900円／申込期限…６月21日(火) ▶セミナーコース

身近に子どもの声が聞こえる村になってほしいですね

―仕事はどんなことをしていますか？
父と一緒にダンプを運転しています。主に砂利や砂を運んでいます。
―仕事で心がけていることはありますか？
安全運転ですね。
―休日はどんな風に過ごしていますか？
毎週サーフィンをしに海に出かけています。冬も行っていますよ。
―これからしてみたいことはなんですか？
サーフィンでもっとうまくなってタヒチやオーストラリアに行ってみたいです。
―村について思うことは？
身近に子どもの声が聞こえるような、子どもが多い村になってほしいですね。
―村について望むことはありますか？
仕事をしていて気づくことなんですが、村内にはまだまだせまい道があるので、もっと広くなればいいなと思います。それと、どこでも携帯電話を使えるようになってほしいですね。

次は舟木敏也さん（赤坂西野字欠下）の予定です。 ■



ふなき ふくよし
舟木副善さん（26歳）
［赤坂西野字茅在住］

誕生日　昭和54年５月21日
血液型　Ａ型
星　座　ふたご座
趣　味　サーフィン、たまに乗馬（笑）
性　格　適当！

学校だより

（第８回）
鮫川小学校 編
塙　馨校長
生徒 232名

４色対抗運動会

五月二十一日（土）に「グリーン必勝ーズ」「ブライトイエロー」「Oceanblue」「オレンジハーツ」の四色に分かれて運動会を行いました。

▼児童主体の活動

応援合戦では、六年生の団長を中心に応援の仕方を考えたり各学年ごとにグッズや応援歌を考えたりしました。また、運動会のスローガンを体育委員会が中心になり、応募・決定しました。児童の自主性がさらに育ちました。

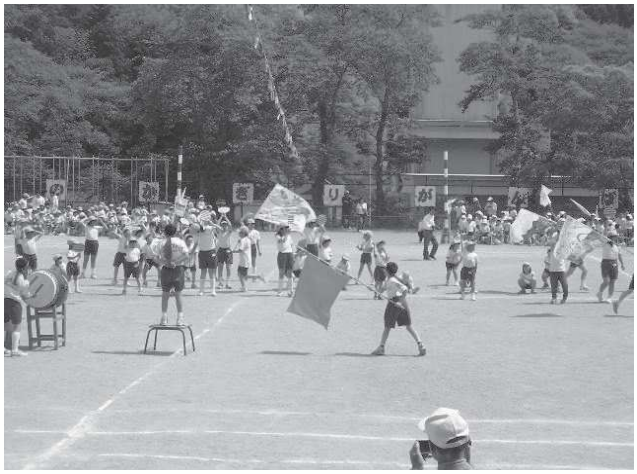
▼係の仕事

五・六年生が、招集引率係や審判係などを一生懸命行いました。児童たちの心を成長させることができました。

▼当日

開会式から閉会式まで、全校生が自分のため、チームのために競技や応援に取り組んだ素晴らしい運動会でした。統合してから、二年連続四位だった緑組は、チームカラーが決まった途端、肩を落としていました。その緑組が優勝したことで、他のチームからも祝福の声が聞こえました。本当に心身共に成長することができた運動会でした。

（文・写真／鮫川小学校）



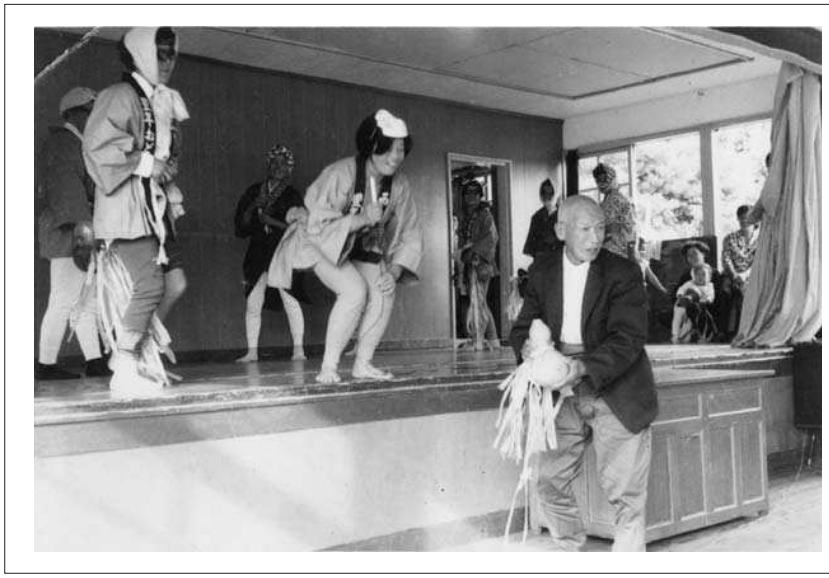
応援披露する児童

セピア色の思い出 ㊾

昭和44年9月

西山敬老会

提供／芳賀芳江さん（西山字鍛治平在住・67歳）



毎年敬老の日には、西山の婦人会で老人クラブの人たちを招いて敬老会を開きました。婦人会員は、各部落二つ以上の芸を披露することになっていたので、大変な数となりました。

九月といえば何かと忙しいときですが、会場の人たちの笑顔を見るのがうれしくて、身体の疲れも忘れて毎晩練習をしました。この写真はひょうたんおどりで、ひょうたんの中には酒を入れていました。

祝い酒をどうぞと差し出したところ、「ほんとに中身が入っている」とお年寄りに喜んでもらえました。（芳賀）

話題 Topics

火の神参りで無火災祈願

（余所内・大沢地区）

西山の余所内・大沢地区では、毎年一回、墓地石山に祀っている「火の神」のお参りを行っています。

お参りは旧暦の三月二十八日に行われているもので、今年は五月六日に実施。各家から持ち寄ったお供え物やお神酒が振舞われました。同地区では「火の神」を祀っているため、長年火事が起こっていないそうです。

（写真は今年と約七十年前のお参りの様子。昔の写真に写っている「しだれ栗」も立派に成長しているのがわかります。）

また、墓地石山には、数多く伝説が残っており、明治の初めごろには、「きつねの嫁入り」もあったそうです。「ちょうちんをぶら下げ、長い行列を作り、嫁入りする様子を見た」「引き出物を持ち帰ってみると、どんぐりと木の葉だった」と地区の人たちに今も語り継がれています。



上…現在のしだれ栗／中…約70年前のお参りの様子、／下…現在のお参りの様子





Information

くらしの情報 インフォメーション

役場の電話番号
0247－49－3111（代表）

【直通電話番号】

総務課	49-3111
	FAX 49-2651
住民福祉課［住民係］	49-3112
［健康係・福祉係］	49-3113
	FAX 49-2651
農林課	49-3114
	FAX 49-2112
企画調整課	49-3115
	FAX 49-3363
地域整備課［建設係］	49-3116
［環境係］	49-3196
	FAX 49-3363
農業委員会	49-3197
	FAX 49-2112
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
	FAX 49-3152
図書館（FAX兼）	29-1150
公民館	49-2247
農業者トレーニングセンター（FAX兼）	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（鮫川保育園・鮫川幼稚園）	29-1010
	FAX 29-1012
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ（FAX兼）	48-2555

今月の納期
6月30日(木)
村県民税第1期
国民健康保険税 第1期
介護保険料 第1期

◆お知らせ1

案内

転入・転出における本人確認について

近年、第三者が本人になりすまして転入届や転出届を行い、本人の知らない間に住民票を移し、転入先の市町村で国民健康保険証や印鑑登録証などを取得するといった事例が全国で発生しています。

これを受けて、住民異動届を受理する際の審査を厳格にすることにより住民基本台帳の正確な記録の確保と、なりすましによる届け出を未然に防止するため、届け出の際の本人確認を行います。

実施時期 6月1日（水）から

対象 転入届および転出届

本人確認の方法 住民異動届を受理する際に、届出人の運転免許証やその他官公署が発行した免許証・許可証もしくは資格証明書など本人の写真が貼付されているものにより本人であることを確認します。

なお、代理人による届け出の場合は、届出人の本人確認をしたうえで、住民異動届の異動者に対し、届け出があったことをお知らせする通知を送付します。

■**問い合わせ** 村住民福祉課住民係☎49-3112

社会福祉施設苦情処理委員に齋藤實さん・高杉タカ子さんを委嘱

村で運営する鮫川保育園、ひだまり荘、さぎり荘などの社会福祉施設（委託している施設を含む）が提供しているサービスについて、意見・要望・苦情などがある場合、施設内に「苦情受付者」と「苦情責任者」を置いて苦情などを受け付けています。

苦情などを施設に直接言い難いときや、言っても問題が解決しないときのために、村では齋藤實さん（赤坂西野字酒垂☎49-2253）と高杉タカ子さん（赤坂東野字大竹☎49-2430）の2名に「社会福祉施設苦情処理委員」をお願いしています。

苦情処理員は、相談者と施設の間に入って相談や問題の解決にあたりますので、気軽にご相談ください。

■**問い合わせ** 村住民福祉課☎49-3112

金婚を迎えるご夫婦を表彰します

主催 県老人クラブ連合会・福島民報社

表彰該当者 昭和30年に結婚されたご夫婦、およびそれ以前に結婚され、自己申告漏れでまだ金婚表彰を授与されていないご夫婦。

申し込み 7月11日（月）までに、村住民福祉課福祉係に申し込んでください。

■**問い合わせ** 村住民福祉課福祉係☎49-3113

教育

教育相談員を設置しました

村では、子どもの教育に関するさまざまな悩みや問題の解決のため、本年度も「鮫川村教育相談員」を設置しました。相談員には清水国明さん（赤坂東野字葉貫☎49-3344）をお願いしましたので、お気軽にご相談ください。



清水国明さん
赤坂東野字葉貫13-2
☎49-3344

■**問い合わせ** 村教育委員会☎49-3151

◆お知らせ２

「福島民話館ねえみんな…」で 取上石の話が放映されます

福島中央テレビ(FCT)で毎週土曜日に放映中の「福島民話館ねえみんな…」で鮫川村の取上石の話が放映されます。

放映日時　６月18日(土)午前11時45分～午前11時59分

■**問い合わせ**　村企画調整課商工観光係☎49-3115

税務職員募集(高校卒業程度)

仙台国税局ではバイタリティあふれる職員を募集しています。税務職員は、国の財政を支える重要な仕事を担います。税務行政のスペシャリストへの道にチャレンジしてみませんか。

受験資格　昭和60年４月２日から昭和63年４月１日までに生まれた方

受験申込受付期間　６月21日(火)～28日(火)

受験申込書の請求　最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課または人事院東北事務局

■**問い合わせ**　人事院東北事務局☎022-221-2022または仙台国税局人事第二課☎022-263-1111

福島県若者・フリーター 就職支援セミナー開催

県では、就職活動中の若者・フリーターの皆さんを支援するため、白河市と共催で就職支援セミナーを開催します。セミナーでは、履歴書の書き方、面接試験の受け方を始めとして、就職活動に役立つことを指導します。

日時・内容　▶６月21日（火）午前10時～午後５時／働くことの意義、自己理解▶６月22日（水）午前10時～午後５時／応募書類の作り方、面接の受け方

場所　白河地域職業訓練センター

定員　25名(申し込み多数の場合は抽選により決定します。)

■**問い合わせ・申し込み**　福島県就職サポートセンター☎024-927-4772

福島県県南保健所「心の健康相談」 「青年期ひきこもり・心の健康相談」のお知らせ

福島県県南保健所では、今年度より、従来から開催している「心の健康相談に加えて「青年期ひきこもり・心の健康相談」を毎月１回開催します。「ひきこもり」でお悩みの方はぜひこの機会をご利用ください。

６月の開催日時　６月７日(火)午後１時30分～午後３時

場所　福島県県南保健所

対象　20歳から30歳代を中心とした青年期の方で「ひきこもり」があってお悩みの方、または家族の方

■**問い合わせ**…福島県県南保健所健康福祉部保健福祉グループ障害者支援チーム☎0248-22-5649

鮫川村街頭犯罪発生状況

棚倉警察署（☎33-3241）

対象犯罪	発生件数	累計
空き巣	1	1
忍び込み	0	0
出店荒らし	0	0
事務所荒らし	0	0
ひったくり	0	0
車上ねらい	1	1
無施錠	0	0
ガラス破り	1	1
鍵穴破壊	0	0
自転車・バイク	0	0
その他	0	0
自動販売機ねらい	0	0
部品ねらい	0	0
自動車盗	0	0
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	0
計	2	2

発生件数：４月26日～５月27日
累計：１月１日～５月27日

●村内で空き巣が発生しています。おかしな人や不審な車などに気付いたら早期通報(110番または棚倉警察署)をお願いします。

◆いきいき健康通信　文／村住民福祉課健康係　鈴木芳子保健師

「歯」と「口」を大切にする生活をしましょう

鮫川村の65歳以上の高齢者人口の割合は28・6％(４月１日現在)です。高齢になって困ることの一つに「歯」と「口」の健康問題があります。歯と口の二大疾患は虫歯と歯周病ですが、その他にも歯並びや噛み合せなどたくさんの問題が潜んでおり、毎日の自己管理と定期的な歯科受診が欠かせません。

できるだけ早いうちから自分の歯と口の中全体の健康に関心を持ち、おいしく食べて楽しく生活しましょう。

■生命維持の入口である大切な「口」

私たちは生きていくために食べたり飲んだりします。口から入った食べ物は消化吸収を助けるため、歯によって小さく噛み砕かれ、消化酵素などを含む唾液とともに体内に送り込まれます。このため、口は「第一の消化器官」と呼ばれています。野生の世界では歯を失うことはそのまま死につながります。それだけ歯はなくてはならない大切なものです。

■「口」は大切なコミュニケーション器官

人間の口は、単にものを食べるためだけではありません。口は大事な「コミュニケーション器官」でもあります。もし歯が抜けたり口や歯の形が変わったりしたら、言葉だけでなく顔の形も変わり、毎日の生活に支障がでたり、相手に与える印象なども変わってきます。

■歯と体の病気の関係

近年、歯と口の疾患は、体全体のさまざまな病気を引き起こす誘因となることがはっきりとわかってきました。口の中が歯肉の炎症やうみで汚れた状態になると、過剰に繁殖した細菌が粘膜や血液を通って全身を回り、心臓や肺、腎臓などに炎症を起こします。「禍は口より出で、病は口より入る」ということわざがありますが、歯と口と全身の健康の関係は深いつながりがあったのです。

■虫歯・歯周病も生活習慣病

虫歯は、口の中にいるミュータンス菌や食べかす、唾液、放置した時間などさまざまな要因で起る生活習慣病です。また、歯周病は、歯の周りの組織の病気で、最大の原因は歯と歯肉(歯ぐき)の境目にたまった歯垢です。この歯垢の中の細菌が毒素をつくり、歯肉に炎症を起こし、やがては歯肉の内側の歯根膜、歯を支えている歯槽骨までが溶け出し歯が抜け落ちてしまいます。さらに歯周病は食生活や喫煙、歯みがきなどとも深い関係があることがわかっています。

■生活習慣病の改善には日常の自己管理と定期的な歯科受診

どんな病気でも初期であれば負担も少なく治療することができます。そのためには、定期的な検診が必要です。大人は半年に1回、子どもは3・4カ月に1回歯科受診し、病気を予防しましょう。歯みがきやデンタルフロス、歯間ブラシでの日常的な歯のお手入れも大切です。

日々の食生活やその他の生活習慣を見直し、歯や口を大切にする生活をしていきましょう。

Book

図書の缶詰
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎29-1150



育てようかむ力（柳沢幸江著、少年写真新聞社）
よくかんで食べることの大切さが、乳幼児期から成人・高齢に至るまであらためて見直されています。
あなたはどんなものを食べていますか？



にぎやか色のちび（ミラ・ローベ作、ＬｉＵ）
『ほかの子と違っていいんだよ。あなたはあなたのままでいいんだよ。』
ひとりひとりの人間が、世界でたったひとつのかけがえのない存在であることを子どもたちにやさしく語りかけています。

火	水	木	金	土
	6/1 ●おはなしの森… 16:00～16:30[図]	2 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	3 ●健康大学… 18:00～20:30[保]	4
7 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	8 ●おはなしの森… 16:00～16:30[図] ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	9	10 ●健康大学… 19:00～20:00[保]	11
14 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	15 ●おはなしの森… 16:00～16:30[図] ●ふれあいおはなし会… 10:00～10:30[図] ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	16 ●10カ月児健診… 10:00～[保]	17 ●健康大学… 19:00～20:00[保]	18 ●チャレンジスクール 第２講座
21 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	22 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●おはなしの森… 16:00～16:30[図]	23 ●リハビリ教室… 10:00～15:00[保] ●保育参観デー[こ]	24 ●健康大学… 19:00～20:00[保] ●保育参観デー[こ]	25 ●保育参観デー[こ]
28 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	29 ●おはなしの森… 16:00～16:30[図] ●社会復帰支援事業 (やまぶきの会)… 10:00～15:00[保]	30 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●村税等納期限	7/1 ●健康大学… 18:00～20:30[保]	2
5 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	6 ●おはなしの森… 16:00～16:30[図] ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	7 ●リハビリ教室… 10:00～15:00[保]	8 ●健康大学… 19:00～20:00[保]	9

[公]＝公民館　[保]＝保健センター　[図]＝図書館　[トレセン]＝農業者トレーニングセンター　[ほ]＝ほっとはうす・さめがわ　[こ]＝こどもセンター

●お誕生おめでとうございます

（4月届け出分・敬称略）

※今月のお誕生はありません。

●おくやみ申し上げます

（4月届け出分・敬称略）

住所	氏名	月日	年齢
中山	國井 ミヨ	4.23	80歳
折戸	阿久津ツヤ	4.26	84歳
青生野	新妻 貞夫	4.27	78歳

●人の動き　5/1現在・（ ）は前月比

人口 **4,544** 人（－ 9）
男 **2,259** 人（± 0）
女 **2,285** 人（－ 9）
世帯 **1,114** 戸（＋ 6）

※訂正とおわび
本紙5月号「人の動き」で一部誤りがありました。ここに訂正しおわび申し上げます。

誤　男 2,258人、女 2,295人

正　男 2,259人、女 2,294人

なお、人口数、世帯数については先にお知らせしたとおりです。

●寄付・寄贈　（4月受理分・敬称略）

■社会福祉事業のために[金員]……國井俊治（中山）阿久津智典（折戸）村山義美（小野町）

※お誕生・おくやみ・寄附欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■先月のはじめに村内各地で開かれた「ふるさと春まつり2005」は天候にも恵まれ、大勢の人たちでにぎわいました。各イベント会場とも趣向を凝らした内容で、全部見られなかった方も多かったのではないでしょうか。「G．W．の後半は鮫川村で…」という方がますます増えることを願っています。■今年の新緑は、例年に比べとてもきれいなものとなりました。これから木々の葉の色も濃さを増し、いよいよ梅雨の時期となります。6月もロードレース大会や、ラリー選手権などイベントが目白押しです。みなさんも出かけてみてはいかがですか。（緑川）



[表紙関連] こどもセンターでは、5月17日・20日・25日の3回に分けて大戸中の小松恵一さん方でいちご狩りを行いました子どもたちは真っ赤に熟したいちごを見つけると、おいしそうにほおばっていました。

6 生活情報カレンダー
月1日～7月9日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
5 ㊡ 大木医院（棚倉町）☎33-2424 中島医院（塙町）☎43-0373 中島病院（石川町）☎26-3415 ● 第15回さわやか高原ロードレース大会／鹿角平観光牧場	**6** ● 図書館休館日
12 ㊡ 東白川中央病院（棚倉町）☎33-3263 東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 中島病院（石川町）☎26-3415 ● 平成17年度納税表彰式・納税組長会議…9：30～[公] ● 第2回親子読書教室…10：00～11：30[図]	**13** ● 図書館休館日 ● 4カ月児健診・BCG接種・お母さん口腔健康相談…13：30～13：45～/塙厚生病院
19 ㊡ 藤田医院（棚倉町）☎33-2013 石川医院（塙町）☎43-0003 田中内科医院（石川町）☎26-3333 ● 2005年全国ラリー選手権大会…6：30～／村道東野牧野線	**20** ● 図書館休館日 ● 農業委員会総会 ● 心配ごと相談…13：00～15：00[公]
26 ㊡ あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 浅川南診療所（浅川町）☎36-3302	**27** ● 図書館休館日 ● 思春期ふれあい体験学習（鮫小・青生野小合同）…10：15～12：10[保]
3 ㊡ おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 木村医院（矢祭町）☎46-3528 中島病院（石川町）☎26-3415 ● 第60回健康づくり夏季球技大会	**4** ● 図書館休館日

㊡＝休日当番医

鮫川の昔話

第六話

鬼越を通った鬼たち

（文・切り絵　中井恒峯）

はるかな遠いむかしの鮫川村の話です。

阿武隈山脈の山深く、清らかな水をたたえる鮫池に、ひとりの女神が住んでいました。女神は、それはそれは美しい娘でした。

女神の職業ははたおりで、毎日毎日楽しくはたを織っていました。

「ぱったんぎー」

はたの音は、近くの森はもとより、遠くの山々まで響き渡っています。

そのころ、青生野には青鬼が、赤坂には赤鬼が住んでいました。そのほかの土地にも黒鬼や一つ目の鬼、三つ目の鬼、頭に角を持った鬼などが住んでいて、西山の鬼越を通って悪さをしに出かけて行きます。

ある日の昼時、赤鬼は自分のうちの庭で笛を吹いていました。すると、どこからともなくはたを織る音が聞こえてきます。赤鬼が吹く笛に合わせるように歌も聞こえます。それがとても調子がいいのです。

赤鬼は見えない糸に引かれていくように、音のする方向に行ってみました。すると、その音は鮫池に住む女神がはたを織る音でした。

赤鬼はひと目で女神が好きになりました。

一方、青生野の青鬼は芸がありませんが、元気な鬼です。今日は機嫌が悪く、朝から江竜田の竜を投げ飛ばしたり、嵐を巻き起こしたりしながら朝日山のまわりをかけめぐって、杉を倒したり山火事を起こしたりしていました。

その時です。どこからともなくはたを織る音が聞こえてきました。透き通るような歌声も風に乗ってかすかに聞こえてきます。それを聞いた青鬼は急に子どものようにおとなしくなりました。そして鮫池のほうにやってきました。

青鬼もひと目で女神が好きになりました。

「ぱったんぎー」

女神は今日もはたを織っています。しかし、その音も前のようには聞こえず響きません。

というのも女神は赤鬼と青鬼の二人のどちらを愛したほうが良いか迷っているからです。

季節は移りもう秋。「女神は俺のもの」と赤鬼と青鬼ははげしく争うようになり、天には雷、地には山鳴りがこだましています。女神が住んでいた鮫池は波立ち、清らかな水もなくなり、生活ができなくなった女神は、西野の山ノ神の山鳩となって毎日悲しく「デデーポッポー」と鳴くばかりです。

また、鬼たちは争いで赤い血を流し、強滝の紅葉を赤く染め、鬼越の地を通って出て行ったということです。

（福島史談会長・広畑出身）



広報 さめがわ　No.６１４［平成17年６月1日発行］
発行・編集／福島県鮫川村役場総務課　〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地５　■TEL 0247-49-3111（代表）
■FAX 0247-49-2651　■ホームページ http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/　■E-メール soumu@vill.samegawa.fukushima.jp